

日本小児病理研究会 会報 第47号

2009年3月11日

1. はじめに

総務幹事

大阪府立母子保健総合医療センター

中山 雅弘

2009年を迎えて暖かかった2月が終わると、3月に入り再び寒い季節となっています。皆さんはいかがおすごしでしょうか？

昨年夏に長野県立こども病院のお世話で日本小児病理研究会が行われました。研究会は盛会で、その後のセミナーにも多数のご参加をいただきました。

今年度は京都で開催される病理学会の中で、コンパニオンミーティングを開催することにいたしました。小児腫瘍組織分類委員会で、肝胆膵図譜改訂作業が最終段階でもあり、今年度のテーマは小児肝腫瘍といたしました。学会半ばの夕刻という時間帯ですが多数の参加をお願いします。会員外の病理医へのアピールもさることながら、会員間で検討を深めるための会となることを期待します。毎年の病理学会において、継続的に何らかのかたちで小児病理研究会の会合を開催していきたいと考えております。

小児救急医療、産科医・小児科医の不足、母体死亡や死産の問題意識が高まっています。病院での剖検数は減少傾向にあっても、死産や突然死の症例は増加傾向にあります。突然死や変死体の解剖は法医学だけでは、解決するものではなく、小児病理医の積極的な関与も望まれます。又、剖検方法の変化として、オートプシー・イメージング(AI)の問題があります。AIに対して、病理医からの関与を考慮されてもよいのではないのでしょうか？

昨年にも書きましたが、社会へのアピールもさることながら、各個人が参加して有益であったというような研究会であればと思います。各地域の小児医療の中で日々臨床医と対峙し直面されている問題を持ち寄っていただき、共通の課題としてさらなる発展の礎にすることが大事であると考えます。

今年度の小児病理研究会は、国立成育医療センター研究所藤本純一郎会長の下に行われます。詳細については次号で連絡しますが、日時は、9月5日(土)、会場は国立成育医療センター研究所の予定です。

2. 日本病理学会 コンパニオンミーティングのご案内

平成21年4月30日から5月2日の3日間、京都市で開催される第98回日本病理学会学術総会において日本小児病理研究会主催のコンパニオンミーティングを下記のとおり行います。みなさまふるってご参加ください。

【開催日時】

平成21年5月2日(第2日) 第7(G) 会場 19時～20時

コンパニオンミーティング8 (CM-8)

日本小児病理研究会 「小児の肝腫瘍」

【演者ならびに演題名】

千葉県こども病院 病理科 堀江 弘先生

「肝芽腫の組織分類の改定にあたって」

神奈川県立こども医療センター 病理科 田中 祐吉先生

「胎盤に転移性病変を認めた先天性悪性肝臓腫瘍の1例」

大阪市立総合医療センター 病理部 井上 健先生

「肝腫瘍との鑑別を要する過形成性結節」

座長 国立成育医療センター病理診断科 松岡 健太郎

3. 地区集会報告

1) 関西小児病理研究会

第60回関西小児病理研究会 平成20年11月25日(土) 於大阪市立総合医療センター

世話人 大阪赤十字病院病理部 新宅雅幸

1. 小脳腫瘍の1例 久保 勇記、他 (大阪市立総合医療センター)
2. 乳児小脳腫瘍の1例 吉田 牧子、他 (兵庫県立こども病院)
3. Lhermitte-Duclos diseaseが疑われる一例 福島 裕子、他 (大阪市立総合医療センター)
4. 乳児期にPaucity of bile ductを認めたが、その後改善した3例
太田 真紀子、他 (大阪府立母子保健総合医療センター)
5. 胞状奇胎を認めた新生児及び胎児の2例 松岡 圭子、他 (大阪府立母子保健総合医療センター)
6. 肺低形成の評価と奇形疾患の鑑別に難渋している剖検例の一例
榎木 英介、他 (神戸大学医学部附属病院)

次回開催予定

第61回関西小児病理研究会 平成21年4月11日(土) 於大阪市立総合医療センター

世話人 大阪府立母子保健総合医療センター検査科 中山 雅弘

～～～関西小児病理研究会のご紹介～～～

関西小児病理研究会は1年に2回のペースで行われています。世話人は大阪府立母子保健総合医療センター、大阪市立総合医療センター、兵庫県立こども病院で順番に担当しておりますが、時々西神戸医療センターや大阪赤十字病院に担当していただく場合もあります。関西小児病理研究会につきましては、大阪府立母子保健総合医療センターの中山雅弘先生、桑江優子先生、松岡圭子先生、大阪市立総合医療センターの井上健先生にお問い合わせください。

2) 関東東海地区小児病理カンファレンス

- 第110回 2008年6月6日 於：国立成育医療センター
1. 肺動静脈瘻の1例 松岡 健太郎、他（国立成育医療センター）
 2. 松果体腫瘍の1例 高場 恵美、他（静岡県立こども病院）
 3. 頭蓋骨腫瘍再発の1例 堀江 弘、他（千葉県こども病院）
 4. Budd-Chiari 症候群の1例 坂下 信悟、他（国立成育医療センター）
 5. 網膜芽腫の1例 田中 水緒、他（神奈川県立こども医療センター）
- 第111回 2008年10月3日 於：国立成育医療センター
1. 先天性大葉性肺気腫の1例 高場 恵美、他（静岡県立こども病院）
 2. 気管支腫瘍の1例 中川 温子、他（国立成育医療センター）
 3. 肺葉内肺分画症 田中 水緒、他（神奈川県立こども医療センター）
 4. 遺伝性出血性末梢血管拡張症(HHT)の1例 松岡 健太郎、他（国立成育医療センター）
 5. Nemaline myopathy 梶 幸子、他（千葉県こども病院）
- 第112回 2009年2月13日 於：国立成育医療センター
1. 左眼窩内腫瘍の1例 北條 洋(福島県立医科大学)
 2. 染色体異常、多発奇形を呈した1例 梶 幸子他（千葉県こども病院）
 3. 急性僧帽弁閉鎖不全症の1例 五味 淳ほか（神奈川県立こども医療センター）
 4. 胎児腹腔内嚢胞 渡辺 紀子ほか(日本大学附属板橋病院)
 5. 肝腫瘍 高場 恵美ほか（静岡県立こども病院）
 6. 鞍上部腫瘍 里見 介史ほか（国立成育医療センター）

次回開催予定

第113回 関東東海地区小児病理カンファレンス 平成21年6月5日（土）於国立成育医療センター
世話人 国立成育医療センター病理診断科 中川 温子

～～～関東東海地区小児病理カンファレンスのご紹介～～～

関東東海地区小児病理カンファレンスは1年に3回（2月、6月、10月の第1金曜日午後5時30分から）行われています。会場は国立成育医療センターで、世話人は病理診断科の中川温子先生が担当されています。

現在、福島県から静岡県までの地域の小児・周産期病理にご興味のある先生方が参加しております。参加希望の先生は事務局までお問い合わせください。診断に難渋した症例などをお持ちいただいても結構です。

4. 事務局より

1) 新入会員のお知らせ

千葉県がんセンター 臨床病理部 梶 幸子先生
筑波大学医学部 病理学教室 里見 介史先生
みなさまよろしくお願ひ申し上げます。

2) 幹事選挙について

本年は2年に一度の幹事選挙の年です。投票は通常通り5月頃を予定しております。よろしくお願ひいたします。

3) 第29回日本小児病理研究会のおしらせ

2009年9月5日(土)

会場 国立成育医療センター研究所 世話人 藤本純一郎先生
前日には同じ会場で小児腫瘍症例検討会が開催されます。

4) 日本小児病理研究会の入退会についてのご質問、ご意見、ご不明の点などございましたら、E-mailまたはFAXにて事務局へご連絡ください。

日本小児病理研究会事務局
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
国立成育医療センター臨床検査部病理診断科
松岡 健太郎
TEL : (03)3416-0181 FAX : (03)5494-7136
E-mail: matsuoka-k@ncchd.go.jp

本研究会のホームページ：
<http://www.ibmd.jp/~jspp/>